

広報ちゅうざん

4月号

2007年4月1日発行



4月号 目次

巻頭の挨拶(2頁)

医療制度 Q&A

「ジェネリック医薬品について(3頁)

Nutrition Support～エビ～(4頁)

ちゅうざん病院の基本理念(5頁)

平成19年2月の入退院状況(6頁)

信頼感こそ治る力の源

ちゅうざん病院 理事長／院長 今村 義典

新しい職員を迎え、皆さんと一緒にリハビリテーション専門病院として、障害を持つ患者さんの「肝心（チムグクル）」を大切に歩みましょう。

早いもので、現病院に移転して、丸一年が経ちました。昨年4月1日の移転は、患者さんや御家族の協力を得て職員全員による大移動でありました。

また、4月の診療報酬改定では、リハビリテーション医療も大きな変化があり大変忙しい一年になり、その所為か、病院にとって大きな出来事であった移転の慌しさが遙か昔のように感じられます。

しかし、一年を振り返り新病院になっての大きな変化は、機器の整備が未だ不十分ではありますが、恵まれたスペースを利用した各病棟でのリハビリテーション治療の試みは、全員参加のチーム医療が実践できてきたと思います。

また、医療制度の改正で、PT・OT・STのリハビリテーション治療実施単位が増えた事は、治療効果に良い結果があらわれ、短期間で改善し退院される患者さんが増え、それだけ入退院が多くなり大変忙しくなっています。

しかし、忙しくなればなるほど、大切な事は、「心あたかな病院」としての日常の医療業務を忘れていないか注意が必要です。

患者さんが医療スタッフに第一に求めることは、病気や治療についての十分な説明であります。一番心配な事なので当然だと理解できます。そこには、説明を求める事で、**医療スタッフの自分の治療に対する関わりに安心感を得るのです**。丁寧な説明と温かい励ましによる大きな「**信頼感**」の重要性について、作家の遠藤周作氏は、患者の体験から薬や手術と同じくらいに大事な治療方法であったと著書の中で「**信頼感こそ治る力の源**」と述べています。

次に大切なことは、人格やプライバシーの尊重があげられます。認知症のように一見理解が出来ないようみえる患者さんでさえ、声かけ一つにしても、医療スタッフの態度や人格に気がつけた温かい心配りを敏感に感じていることに日常の回診で気が付くことが多々あり、医療者として注意が必要です。

日頃から、気をつけていても、忙しさにかまけて、ぞんざいになってしまう事があります。気をつけないといけないと思っています。

今年度も、より温かい医療を提供出来るよう「肝（心）苦リサン（チムグリサン）」に心がけていきたいものです。

医療制度 Q&A:ジェネリック医薬品について

薬剤師 庄司 歩

Q1.テレビで高橋英樹さんや黒柳徹子さんが宣伝しているジェネリック医薬品について教えてください。

A: 今話題になっているジェネリック医薬品とは、後発医薬品のことです。
後発医薬品は、新薬の独占販売期間(特許期間 20～25 年)が終了した後に発売される、新薬と同一成分の医薬品です。
ジェネリック(generic)は「一般的な」「総称の」という意味を持ちます。
欧米では、後発医薬品は商品名ではなく薬の有効成分名である一般名(ジェネリックネーム)で処方されることが多いため、ジェネリック医薬品と呼ばれています。

Q2.新薬と比べて、効果は変わらないのですか？

A: ジェネリック医薬品は、厚生労働省が定めた厳しい基準をクリアして、新薬と品質・有効性が同じであると認められた薬です。
しかし、製薬会社によって添加物や製造過程の違いがあり、全く同じというわけではありません。
ジェネリック医薬品は安いというイメージが強いですが、大きさやにおいの改善など新薬より工夫を施した医薬品もあります。

Q3.薬代はどのくらい安くなり、負担の軽減になるのですか？

A: ジェネリック医薬品は、新薬に比べると開発コストが抑えられるので、新薬の約 2～7 割という安い価格で販売することができます。

Q4.国がジェネリック医薬品を推奨するのはなぜですか？

A: 総額 31 兆円にのぼる国民医療費のうち、薬剤費は約 6 兆円を占めています。
その薬剤費を節約することで医療費抑制を図ろうと、後発医薬品を進めています。政府は様々な取り組みをしていますが、欧米ではジェネリック医薬品のシェアが 5 割前後であるのに対して、日本は 2 割にも達していないのが現状です。
現在、当院でのジェネリック医薬品の割合は、3割となっています。

Nutrition Support

4月 エビ

管理栄養士 ブラウン章子

おめでたい日の料理に欠かせないエビ。

私たち日本人は世界一エビを食べているそうです。エビにはたんぱく質が豊富に含まれ、鶏ささ身よりもさらに脂肪が少なく低エネルギー。ブラックタイガー1尾(30g)のエネルギーは、わずか **21kcal** しかありません。身には体力増強やコレステロールを下げる効果があるタウリンが、殻には免疫力を高める遅筋やキトサンといった食物繊維がたくさん含まれています。

しかも、噛みごたえがあって食べるのに時間がかかるから、満腹感を得やすい、という点もダイエットにはピッタリなのです。殻つきをこんがり焼いて栄養を丸ごと食べましょう。

クッキングコラム

フライは揚げる前にレンジ加熱を！！

コロッケやフライなどの揚げ物の下ごしらえに、電子レンジはとっても便利。

揚げる前に電子レンジで加熱しておくことで、中まで早く火が通るので、揚げる時間が短くなって、料理のスピードアップにもなり、しかも中まで半生という失敗もありません。また、衣が吸う油の量が減るので、エネルギーもダウンしてヘルシーに。炒め物の場合も同様に、切った材料を電子レンジで加熱してから炒めると料理が短時間で済みます。



【ちゅうざん病院 基本理念】

ちゅうざん病院は、リハビリテーション専門病院として高齢者や障害者の人たちが、安心して生活できるような医療・介護を目指す。

【病院の基本方針】

1. 患者さんのための病院
心に通い合う医療を！
やさしく、温かく、気配りを！
2. 地域に開かれた病院づくり
患者・家族をチームで支えよう！
チームは全職種で！
医療・保健・福祉のネットワーク作りを！
3. 生涯学習に努めよう！

【各フロアのご案内】

屋上	機械室		
5階	多目的ホール・研修室・管理室		
4階	A病棟 回復期リハ病棟	B病棟 回復期リハ病棟	リハビリ訓練室 デイルーム
3階	A病棟 回復期リハ病棟	B病棟 回復期リハ病棟	リハビリ訓練室 デイルーム
2階	A病棟 一般病棟	B病棟 療養病棟	リハビリ訓練室 デイルーム
1階	受付・薬局・栄養指導 レントゲン室・CT室 リハビリ訓練室 医療相談室・外来診察室	通所リハビリ室 厨房	

【患者の皆様のご権利】

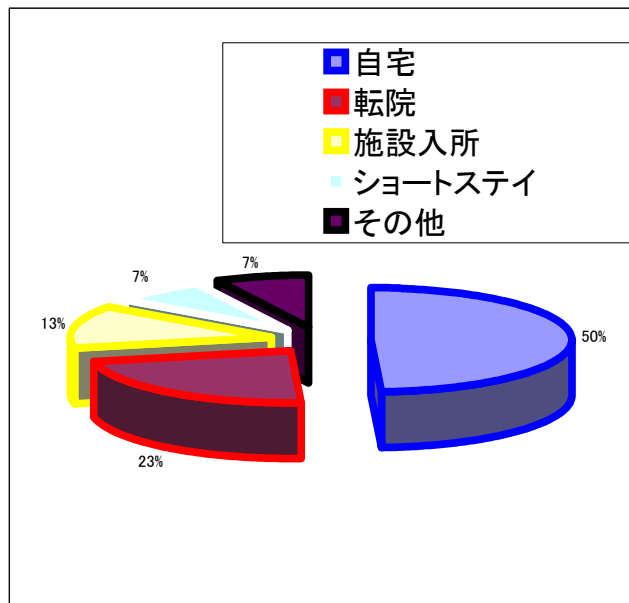
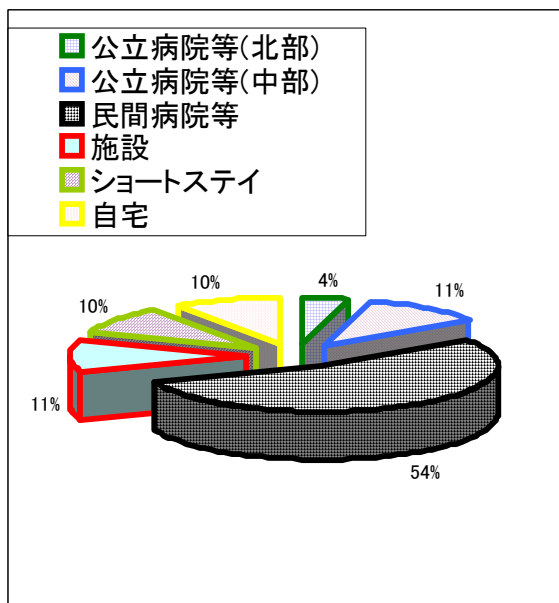
1. 人格を尊重した医療を受ける権利
皆様に責任をもって診断・医療を提供致します
2. 自己決定権
皆様の意志決定に必要なかつ十分な説明を致します
3. プライバシーを守る権利
皆様のプライバシーについて十分な配慮を致します
4. 知る権利
皆様の病気について十分な情報を提供致します

※ ちゅうざん病院パンフレット参照

【平成18年2月入退院状況】

【入院患者数:71名】

【退院者数:67名】



ちゅうざん病院

〒904-2151 : 沖縄市松本6丁目2番地1号

電話 982-1346 FAX 982-1347

「広報ちゅうざん」編集:真喜屋 賢二